

地域情報

～猛暑に負けない！野菜産地の育成強化～ 次年度に向けた「青パイヤ」栽培講習会を開催

(一社) 熊本県野菜振興協会 宇城支部

宇城支部では、近年の高温化の中でも作り易い新たな野菜として、熱帯作物の「青パイヤ」に着目し、JA熊本うきと協力し、令和7年4月から試作を行っています。

本会予算で経営確認ほ場を2か所設置し、4月に定植後、順調に成長し、8月末から12月まで長期間の収穫ができました。栽培、販売面も順調に推移、展示ほの結果から、有望品種や施肥方法が判明し、収量や販売額、労働時間から経営指標も完成しました。11月には、JAと次年度の栽培希望者を募るため、説明会を開催した結果、予想を超える約30名の参加があり、計約500本(約0.7ha)の苗の注文が集まりました。この結果を受け、JAでは次作から野菜の共販品目として取り組む運びとなり、新たに生産者研究会を立ち上げ、栽培及び販売に力を入れていく方針になりました。

2月5日、13日の栽培講習会では、次作のほ場の準備や施肥の方法等について農業普及・振興課から説明があり、終了後にはJAから作付けの最終確認と併せて、JA出荷の確認がなされましたが、当初の生産者数・生産規模に変化は出ていないとのことでした。

宇城支部は、次年度以降もJA熊本うきや農業普及・振興課と連携して、年々高温化が進む気象条件の中、リスク分散として、経営の一助となるよう、「青パイヤ」の産地化に向けた生産振興や販路拡大等に取り組んでいきます

※「青パイヤ」とは、パイヤの未熟果実を野菜として食べるもの



講習会の様子 (三角 2/5)



講習会資料